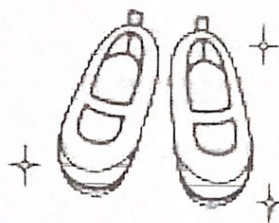


母塾

2019・5・28

VOI-19



新小岩幼稚園・未就園児クラス

『 ないものねだり 』

アドバイザー 猪之鼻晴子

赤ちゃんは毎日顔が変わる。体重も日に日に増える。
子どもの成長には目に見えるものと見えないものがある。
2才3才になると一週間では子どもに変化がないようにも感じる。
「いつまでたってもオムツが取れないな」
「うちの子、言葉がなかなか出てこないな」と心配になることもある。
いつまでオムツを買い続けるのだろう。
発達が遅れているのかな。
私たちはどうしても子どもの「できていないこと」ばかりを見ている。
「もうできていること」は見えていない。
1年前2年前の「できていなかったこと」は忘れてしまう。
歩いて、ママとバイバイして、幼稚園でみんなとお弁当を食べているなんて。
1才の時には想像しただろうか。当たり前のようにお迎えしてしまうけれど、
もし、去年の自分がタイムマシンに乗って緑の小道にお迎えをしたら……。
今の子どもを見てどんなに驚くだろう。「別人みたい」と。

「おしっこ！」と外出先でたびたび言われるとオムツだったら楽だったのに。と思ってしまう。
ずっとずっと話しかけられると、「うるさいな、ちょっと黙っていてくれる？」と言ってしまう。
結局、ずっと「ないものねだり」なのだ。

年中のロクに「ロクちゃん、またパンツ裏返したね。」と言うと。
「きのうも、そのまえもちゃんとはけたよ。ママはけたときはみてないね。」と言われた。
毎日元気に大きな声でしゃべっていた高1の次男がすっかり口数が少なくなった。
「さみしいな。あんなに高い可愛い声で話してくれていたのに。」と言ったら。
次女に「よく言うよ、ママ。うるさい、耳が痛くなる。って言ってたよ。」と言われた。
いつもないものを欲しがって、今あるものを見えていないのかもしれない。
2年後の私がタイムマシンで今日に来たら。それもまた驚きだろう「別人みたい」と。
出来ないことも、出来ていることも併せて今日の子どもを見てみよう。
三男の脱ぎっぱなしの服を見ながら思う。